

2 合併のメリットって、なに？

市町村合併の検討の意義

中・長期的な

SHIROYAMA

SAGAMIHARA

城山町・津久井町・相模湖町

安定的な行政サービス

- ◆福祉、教育、ごみ処理、消防など従来の行政サービスを長期的かつ安定的に実施することが可能になります。

行政サービスの向上

- ◆中核市になることにより、行政サービスの効率化が図られるとともに、専門職員等の対応による高度できめ細かなサービスを受けることができます。

公共施設等の利用

- ◆相模原市にある公共施設等の利用が可能になり、利便性が向上します。

環境の保全と活用

- ◆多くの住民の力により、水源の森づくりや水とみどりの保全・活用が進められます。

地域の活性化

- ◆市になることによるイメージアップにより、地域の活性化が期待できます。

次世代に誇れるまちづくり

- ◆「都市機能」と「水とみどりと文化」とが相互に補完し合い調和することにより、次世代に誇れる理想的な都市が誕生します。

新たな産業・観光の創造

- ◆自然と共生する都市としての魅力に加え、さがみ縦貫道路、中央自動車道など広域交通軸のインターチェンジを有する都市として、新たな産業・観光の創造が期待できます。

広域的な観点からのまちづくり

- ◆道路や公共施設の整備、土地利用、産業・観光振興、環境保全など様々な場面で、長期的・広域的な観点にたった新たなまちづくりの展開が可能になります。

パートナーシップによるまちづくり

- ◆70万市民の地域間・世代間を越えたパートナーシップによる新たなまちづくりの可能性が広がります。

合併に対する疑問や不安にお答えします。

Q 財政力の弱い津久井郡3町との合併は、相模原市にとってデメリットではないですか。相模原市民の税金が津久井郡地域に使われてしまうのではないですか？

A 合併は広い範囲でまちづくりを考えていくことで、よりよい住民サービスを提供していくとするものです。財政的には事務事業の統合などにより、一定の歳出増が見込まれますが、一方で、管理部門などの統合・スリム化や特別職の削減など、効率的な行財政運営が可能となります。合併にあたっては、住民負担が増えたり、サービスが偏ることのないよう調整を進めてまいります。

合併すると、地域のコミュニティが失われ、地域の一体感がなくなることが心配です。

市町村合併は、それぞれの地域の特性を一つに限定してしまうのではなく、大きな範囲でまちづくりを考えようとするものです。一つの市としての一体感を醸成することも大切ですが、それぞれの歴史や伝統、文化あるいは地域の独自性を尊重したまちづくりを進めることが非常に重要なことであると考えています。

視点からの効果

地域の活性化

- ◆豊かな自然と共生する新たな都市としてのイメージアップに伴い、産・学・官の連携などによる地域の活性化が期待できます。

都市内分権の推進

- ◆都市内分権の推進と地域の個性を生かして、地方分権時代に対応した新たなまちづくりを進めることが可能となります。

教育の場の広がり

- ◆津久井地域の自然を生かした教育や相模原市の図書館・博物館等を生かした教育など、相互に教育の場が広がります。

行財政の効率化

- ◆市町の管理部門（企画・人事・財務等）や別々に実施してきたごみ処理や消防などの業務を統合することにより、行財政の効率化が図られます。

相模原市

地域資源の活用

- ◆津久井地域が持つ自然・文化・歴史等の地域資源が、身近なものになります。
- ◆豊かな地域資源が増えることにより、教育、スポーツ等の幅や自然保護・レクリエーションなどの市民活動のフィールドが大きく広がります。

都市の魅力

- ◆自然と共生する都市としてのイメージアップが期待できます。

公共施設等の利用

- ◆津久井地域にある公共施設等の利用が可能になり、利便性が向上します。

新たな可能性

- ◆市域が広がることにより、新たなまちづくりの可能性が広がります。

合併すると、津久井郡3町は議員が少なくなり、住民の声が反映されにくくなるのではないですか？

このような不安を解消するために、合併に伴い津久井地域の各町ごとに「地域自治区」が5年間設置されることとなります。「地域自治区」では、地域住民の意見を反映させるために、地域の住民による地域協議会が設置され、市長は協議会の意見を聞くことが必要となり、地域の住民の声は十分に反映できるものと考えています。

市の面積が増えると、効率的な行財政運営ができなくなるのではないのでしょうか？

1市3町が合併すると約264km²の市になりますが、道路などの都市基盤が整備され、IT技術が発達した現在では、市の面積が広がったとしても、それに対応した行財政運営が可能であると考えています。

合併協議が行政側で一方的に進んでいるように見えますが、住民はそれほど合併の必要性を感じていません。住民の意見を反映すべきではないのでしょうか？

津久井郡3町からの合併協議の申し入れを契機に、相模原市と津久井郡3町では、市町を取り巻く社会状況の変化や、市政、町政の運営状況を踏まえ、合併協議を行うとの共通認識に至りました。合併協議会においては、住民の皆様にも委員になっていただき、公開の場で合併協議を行うと共に、協議会だよりを配布するなど情報提供に努めております。協議された内容については、住民の皆様からも手紙やメールなどでご意見をいただいているほか、シンポジウムなどを開催し、様々なご意見を伺ってまいりたいと考えています。

